

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	要介護・要支援認定事務	2-40
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	保健福祉部高齢者支援課	直通電話	72-6121
担当部長	鎌田英暢	担当課長	沢田茂明
		担当者	宮森明美

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	要介護認定申請に対して法定期間内(30日以内)の介護認定業務を行う。		
(2)事業開始年度	平成11年度	(3)事業終了年度	永続
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	2 健康であわせに暮らすまち	
	施策項目(大)	(2)高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	その他	
	施策コード	20204	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	介護が必要な被保険者が適正な介護サービスを利用するため。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	要介護認定申請から判定結果までの業務を30日以内に行う。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	訪問調査の実施・意見書作成依頼等・介護認定審査会の実施。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	介護保険法に基づき全国で同様の事務が行われている。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	27,437	29,058	28,164	31,977
(2)その他の間接経費(千円)	2,905	3,112	3,040	2,623
(3)従事正職員の人件費(千円)	25,896	24,855	26,913	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	56,238	57,025	58,117	
事務に従事した正職員延べ人数	3.00	3.00	3.00	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収	区分	H17	H18	H19	H20予算	支	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)										
入	計(B)	0	0	0	0	出	計	0	0	0	0
	(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
申請者数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	
	実績値	1,978	2,282	2,174	
	達成率	-	-	-	
介護認定審査会(回)	目標値	76	76	76	
	実績値	73	74	74	
	達成率	96.1	97.4	97.4	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
介護申請のうち30日以内に審査判定がでている割合(%)	目標値	100	100	100	
	実績値	44.0	46.0	53.0	
	達成率	44.0	46.0	53.0	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい	ア 施策との関連	1 密接な関連がある
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか	2 普通	事業の成果と施策の成果とに関連があるか	2 関連がある
	3 小さい		3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない	イ 成果	1 すべて達成している
その事業に市が関与する必要があるかどうか	2 民間等でもできる	事業の成果は目標を達成しているか	2 一部達成している
	3 民間等でやるべき		3 達成していない
(2) 効率性		ウ 事業内容	1 極めて妥当
ア コスト削減	1 不可能である	目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か	2 一定の妥当性あり
コスト削減は可能か	2 難しい		3 妥当性が低い
	3 可能である		
(3) 公平性		(1)~(4)の評価ポイント合計	
ア 受益者負担	1 不可能である	総合評価の参考にしてください。	
さらなる受益者負担は可能か	2 難しい	7~11	A or B
	3 可能である	12~15	B or C
		16~21	D or E
		12	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	法定期間内の審査判定の割合は低いものの、年々改善はされている。	
(2) 今後の方向性・課題		早期に判定結果が出せるよう関係機関に協力を求めている。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	審査判定に時間を要す面はあるが、適切に認定事務を実施している。	
(2) 今後の方向性・課題		早期判定に向け、関係機関の連携を強化する。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		